

平成22年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	3. 民生費	事業名	8. 国民健康保険特別会計等への繰出経費			
項	1. 社会福祉費	細事業名				
目	1. 社会福祉総務費	担当課・係	健康保険課	(執行課: 健康保険課)		

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業	(単位: 千円)							
	(歳入)	(歳出)	財源内訳								一般財源
要求額	0	493,135	要 求								493,135
決定額			決 定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)			施 策							
				施策体系コード			事業番号				
				総事業費			事業期間				
				年度別事業費							
				(事業実施に関する根拠法令)							

< 事業に関する説明 >

<p>(事業の説明)</p> <p>国民健康保険特別会計への繰出経費であり、国民健康保険事業の運営のため必要な経費を支出するもの。</p> <p>国民健康保険財政は、国費と国民健康保険税で賄うことが原則であるが、他の医療保険と比較して財政基盤が脆弱であるという構造的な問題があり、被保険者の保険料負担が過重なものとなっていることから法定外の繰出をするもの。</p>	<p>(事業の目的)</p> <p>国民健康保険特別会計の財源を確保するための繰出金には、法定繰出(交付税措置あり)として、保険基盤安定繰出金、出産育児一時金等繰出金、職員給与費等事務費繰出金、財政安定化支援事業繰出金等がある。</p> <p>本事業は、法的負担経費に該当しない法定外の繰出金であり、国民健康保険特別会計の財源不足による財政運営上の経費として、一般会計から繰り出しするもの。</p>	<p>(事業の効果)</p> <p>国民健康保険特別会計の財源不足を解消し、被保険者の保険料負担の緩和が図れる。</p> <p>国保財政は、極めて厳しい状況にあり、一般会計からの繰入は不可欠である。</p>
<p>(事業実施上の問題点)</p> <p>被保険者の高齢化や医療の高度化等による医療費の高騰、景気低迷による所得の伸び悩みや保険料収納率の低迷により、国保財政は切迫している。被保険者の負担を軽減し福祉の向上を図るためには、一般会計からの法定外繰出は必要な事業であるが、一般会計も厳しい財政状況にありその取り扱いに苦慮している。</p> <p>保険税率を上げ国保加入者の受益者負担を高めるか、多くの市民の方(法人含む)で国保会計を支えるのが課題である。</p>	<p>(前年度からの見直し点)</p> <p>健全な国保財政運営に向け財源確保のため、さらなる保険料収納率の向上に努めた。</p> <p>被保険者の生活の質の向上を図りながら医療費の伸びを抑制するため、生活習慣病予防のための特定健診受診率向上に努めた。</p>	<p>(見積についての特記事項)</p> <p>被保険者の保険料負担の緩和のため、一般会計から繰出を行うことは、国保事業の運営の原則の枠外にある。</p> <p>国保財政の健全化を図るため、保険料収納率の向上と医療費の適正化に努める。</p>